

株主メモ

Stockholder Memo

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月に開催

基準日

定時株主総会 3月31日

期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

その他必要のあるときは、あらかじめ公告して定めます。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒541-8502
(連絡先) 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
TEL (通話料無料) 0120 (094) 777

公告方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
ホームページ <https://www.kfc-net.co.jp/>

上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 市場第二部

単元株式数 100株

単元未満株式の
買取請求受付場所 証券会社等ご利用の株主様はお取引の証券会社等へお申し出ください。
証券会社等ご利用でない株主様は上記特別口座管理機関にお申し出ください。



アーチドレンアーチパネル工法

ホームページのご案内

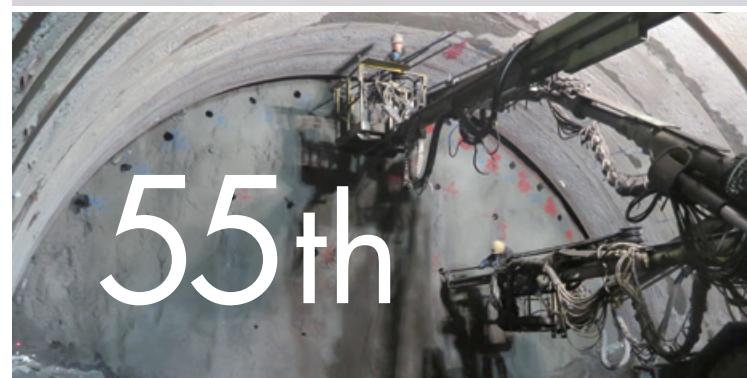
Website



<https://www.kfc-net.co.jp/>

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、事業活動やその動向を紹介しております。当社をよりご理解いただくためにも是非アクセスしてください。

株式会社 ケー・エフ・シー



KFC REPORT

時代のニーズに対応する、先進の技術を追い求めて

株式会社 ケー・エフ・シー

証券コード：3420



Trust

[信頼]

Safety

[安全]

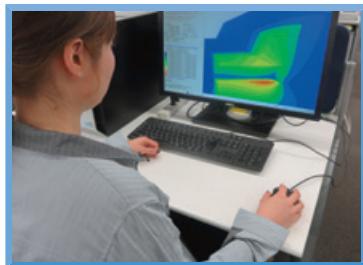
Functionality

[機能性]

時代のニーズに先進技術で応え続けて半世紀 建設用アンカーのパイオニア

建築土木用アンカー製品からトンネル内装工事・サポートまで。
当社では埼玉県加須市に全事業部門を横断的に統一した技術部門である技術研究所を設けています。それぞれの事業部からフィードバックされる情報、アイデアなどをもとに、新たな製品、技術、工法を開発するとともに、既存技術の異業種、他分野への適応などについても研究しています。

設計・技術開発



現場からのフィードバックにより、さらに安全性と機能性を追求した新たな製品開発に取り組んでおります。

現場施工



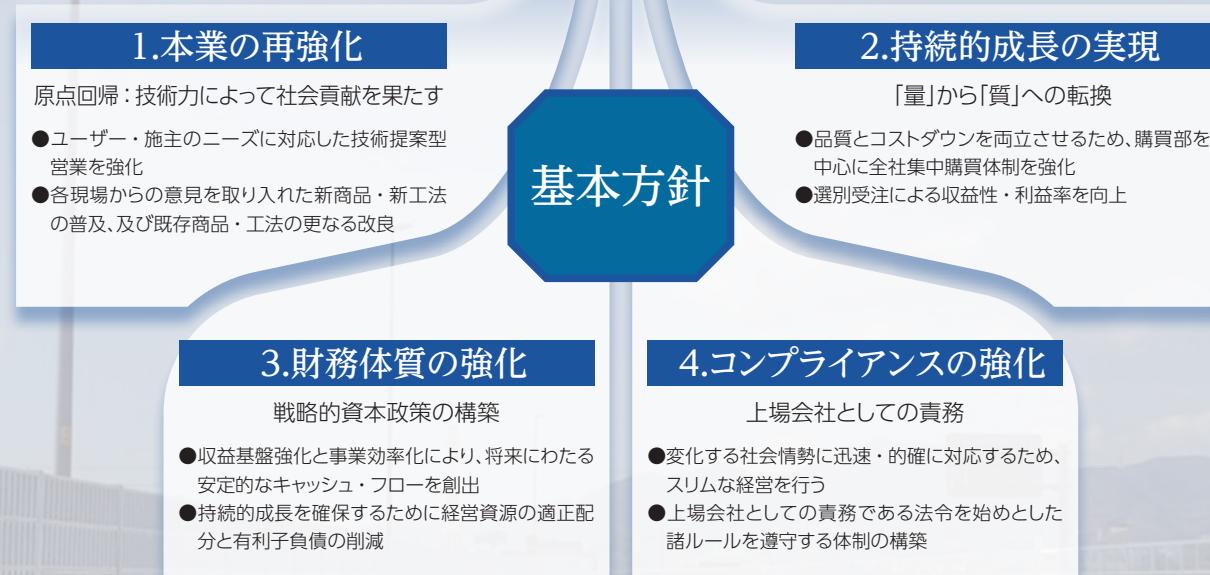
Strategy

[中長期経営戦略]

次の50年、100年も
人々の暮らしを支え続けるために

「あるべき姿」に向かって

業界に先駆けて高付加価値の製品・工法を開発し、持続的成長を可能にする企業グループ
高度な社会インフラ整備の実現に向け、常に「オンリーワン」技術にチャレンジし、豊かな社会資本・インフラ整備に貢献する
専門家集団としての責務を果たしてまいります。



[基本戦略]

成熟分野

顧客・現場を重視した営業展開

成長分野

インフラ補修・補強への事業展開強化

新規事業

新事業の創出

- 研究開発を強化：差別化できる製品・工法を継続的に創出
- 人材の確保・育成強化：高品質な製品・工法を提供
- コンプライアンス体制の強化

株主の皆様には、
平素より格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。

代表取締役社長 高田 俊太



当社は2019年3月31日をもって第55期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の事業年度を終了いたしましたので、ここに事業の概況並びに決算の内容についてご報告申し上げます。

第55期の業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、国内における地震や豪雨などの自然災害による影響があったものの、好調な雇用環境を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外においては、中国の成長鈍化や英国のEU離脱を含む欧州の政治情勢の不安定化などが懸念され、米中貿易摩擦の激化などにみられる保護主義的傾向の強まりもあり、先行きは

【企業理念】

- 一．私たちは信用を重んじ、社会の発展と豊かな環境づくりに貢献します。
- 一．私たちは時代のニーズに対応し、常に変貌する企業を目指します。
- 一．私たちは社員相互の信頼のもと、人材を育成し、希望に満ちた企業を創造します。
- 一．私たちは常に学ぶ姿勢を持ち、自己と企業の進歩、改善を目指します。

依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの関連する建設業界におきましては、建設投資額は増加傾向であるものの、建設技術者、技能労働者の慢性的な不足による労務単価の上昇、建設資機材の値上がりなどの不安要素も多く、業界を取り巻く外部環境は未だ楽観が許されない状況にあります。

このような状況のなか、当社グループは、事業部間の連携を強化することで営業情報を共有化し、顧客ニーズを的確に捉えた技術提案型営業を鋭意推進し、商品の拡販と建設工事の受注に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、246億74百万円(前期比4.1%減)で、その内訳は、商品売上高が109億52百万円(前期比1.9%増)、完成工事高は137億21百万円(前期比8.3%減)となりました。

収益面につきましては、原材料価格の高騰や価格競争の激化による売上総利益率の低下により、営業利益22億37百万円(前期比14.3%減)、経常利益23億18百万円(前期比12.7%減)となり、当連結会計年度の親会社株主に帰属する当期純利益は15億62百万円(前期比11.3%減)となりました。

今後の見通しについて

今後の見通しにつきましては、引き続き海外経済の不確実性や金融市場における変動の影響を注視する必要があり、なお予断を許さない状況が続くものと見込まれます。

一方、建設業界におきましては、東京オリンピック並びに大

阪・関西万博開催に向けての各種インフラ整備、リニア新幹線などの大型プロジェクト、堅調な民間設備投資等を含め、建設需要拡大の動きが継続することが見込まれ、堅調な受注環境が続くものと考えられます。

しかしながら、原材料価格や労務単価の上昇、少子高齢化に伴う人材不足、若年労働者の確保や働き方改革による労働環境の多様化など多くの課題を抱えている状況にあり、事業環境をめぐる見通しは不透明となっております。

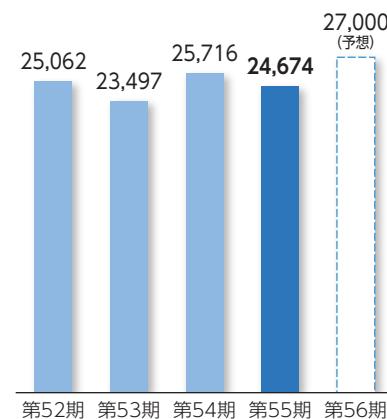
このような状況のなか、当社グループは、ファスニング分野のリーディングカンパニーとして、安心・安全を最優先とした社会インフラの新設・維持・補修を通じて社会の発展に貢献する企業を目指し、2018年5月に「ケー・エフ・シーグループ中期経営計画(2018~2020年度)」を策定しました。本計画に基づき持続的成長を目指す当社グループが「あるべき姿」に向かって経営資源を有効活用し、経営基盤のさらなる強化を推進してまいります。

また、従来から取り組んでおります「本業の再強化」「持続的成長」「財務体質の強化」「コンプライアンスの強化」の4つの重点課題にも一層注力し、これらの取り組みを総合的に実現することによって、ケー・エフ・シーグループ全体の企業価値の向上に努めてまいり所存であります。

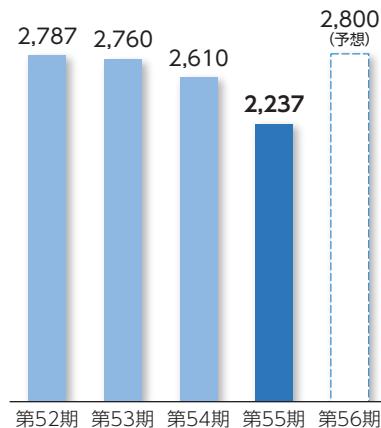
株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

採算性重視の受注確保及び、原価低減の取り組みを継続。
前期に比べ減収減益となりました。

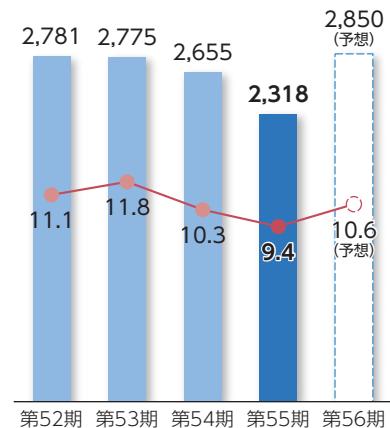
売上高(単位:百万円)



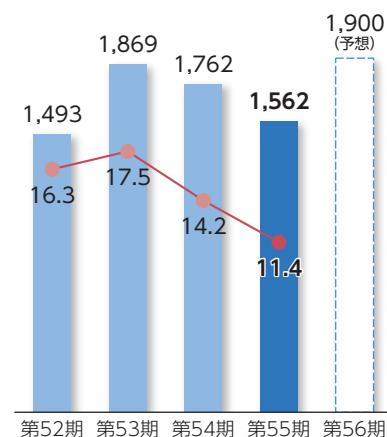
営業利益(単位:百万円)



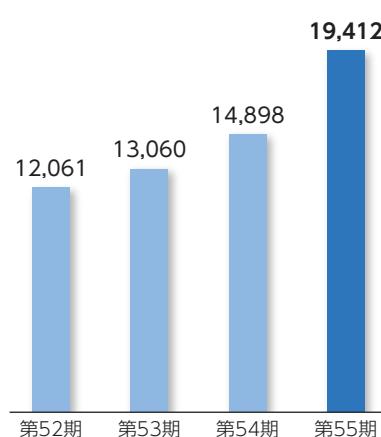
経常利益(単位:百万円)／経常利益率(単位:%)



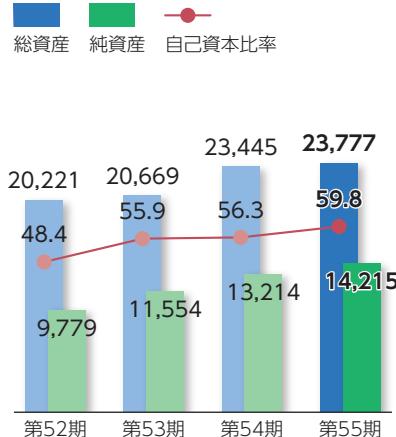
親会社株主に帰属する当期純利益(単位:百万円)／ROE(単位:%)



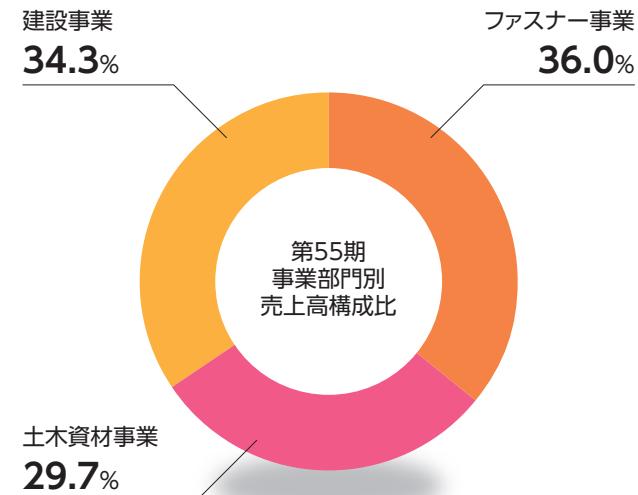
受注工事高(単位:百万円)



総資産／純資産(単位:百万円)／自己資本比率(単位:%)



事業部門別概況



土木資材事業



度重なる自然災害の影響により、一部に発注の遅延が生じましたが、主要商品であるロックボルトの受注高は堅調に推移いたしました。一方、新設トンネル向けの各種資材販売においては一部に納品の遅れが生じました。

ファスナー事業



耐震関連の商品・工事及び「せん断補強RMA工法」関連の売上が増加したことに加え、付加価値の高い高機能の「あと施工アンカー」をはじめとする建設資材販売も順調に推移しました。

建設事業

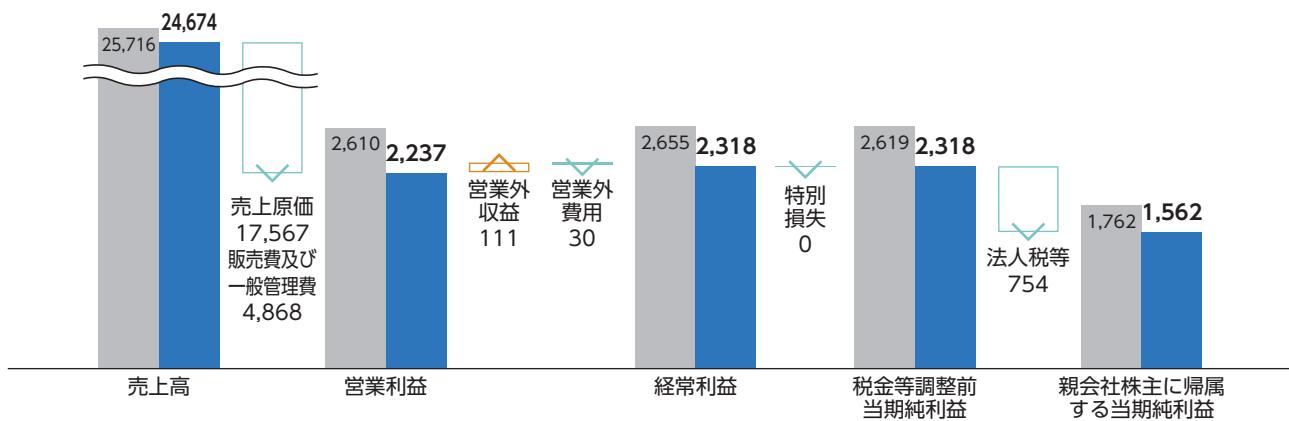


当社の得意とする環境対策工事において大型元請物件を受注したものの、構造物補修工事においては自然災害の影響を受け、また、道路関連設備工事においては本体工事の遅れが影響したことなどにより工事の発注や進捗が遅延しました。

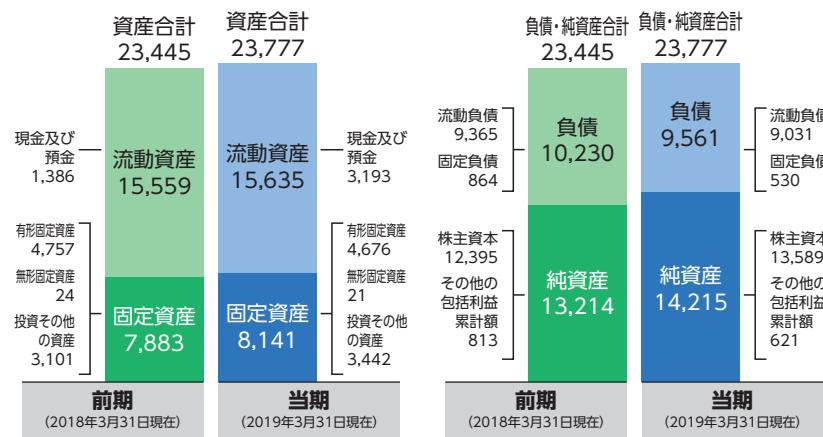
連結損益計算書 (単位: 百万円)

■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

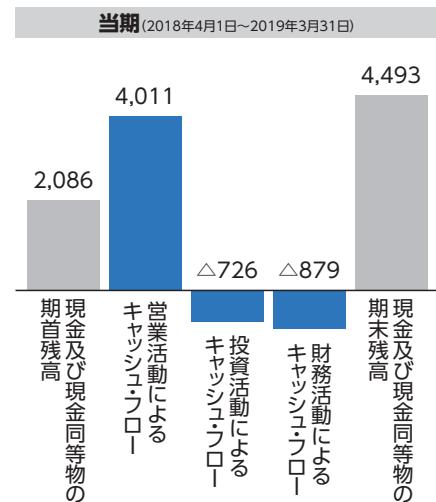
■ 当期 (2018年4月1日~2019年3月31日)
■ 前期 (2017年4月1日~2018年3月31日)



連結貸借対照表 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)



Siラセレー進入検知

画像解析機能付きカメラにより、画面上に設定したラインを超えて車線規制内に進入した一般車両を検知し、警報を発するシステムの実証試験を行いました。(2018年10月)

高速道路総合技術研究所(NEXCO総研)による各社の安全対策技術を対象とした評価試験では3段階評価のうち最上位の評価を得ました。



- AI(人工知能)を搭載したカメラによるSiラセレーのアップデートを検討
- AIが自動車を認識し、ラインを超えた車両を検知し発報



●道路作業従事者によるカメラの設置



●試験車両の進入を検知

DIY製品の販売促進

水につけるだけで簡単にモルタルができる「モルシェ」をDIYショウ2018に出展しました。また、身近な素材を型材にして植木鉢を作るモルシェ体験ワークショップを開催しました。(2018年8月)



●モルシェ



●ワークショップの様子



●モルシェで作った植木鉢

株式の状況

Stock Information

(2019年3月31日現在)

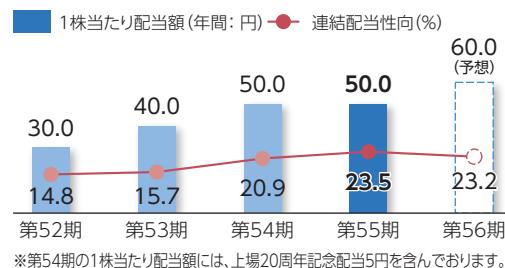
発行可能株式総数	18,970,000株
発行済株式の総数	7,378,050株
株主数	1,221名
大株主	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
高田信子	784,000	10.65
積水樹脂株式会社	777,000	10.55
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	579,200	7.87
高田俊太	392,700	5.33
ケー・エフ・シー取引先持株会	332,200	4.51
株式会社三菱UFJ銀行	325,000	4.41
デンカ株式会社	200,000	2.71
株式会社中外精工	174,700	2.37
エムエスティ保険サービス株式会社	150,000	2.03
生田明男	126,000	1.71

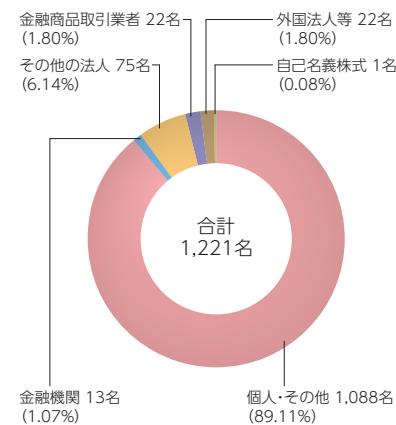
(注)持株比率は、自己株式(18,318株)を控除して算出しております。

配当方針

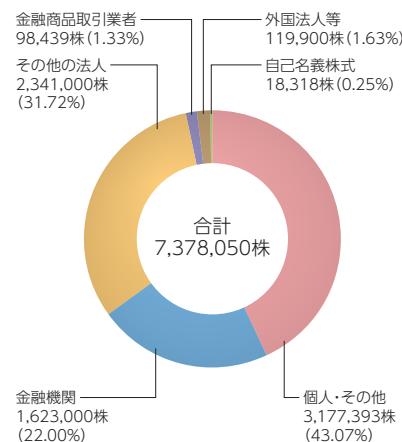
当社の配当政策は、安定的な利益還元継続を重視することを基本としておりますが、当該期の業績や今後の資金需要、財務状態も総合的に勘案し、株主各位のご期待にお応えしていきたいと考えております。また、内部留保金につきましては、有利子負債を削減し財務体質の強化を図るとともに、経営環境の変化に柔軟に対応するための設備投資や研究開発、新規事業の拡大などに有効活用してまいります。



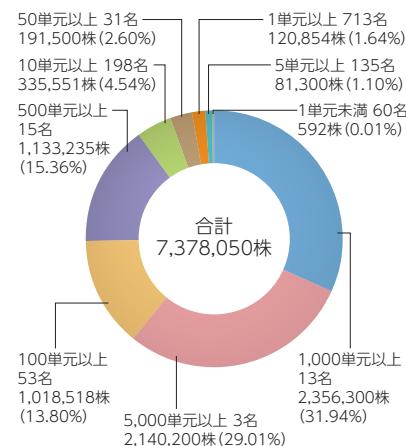
所有者別分布状況(株主数)



所有者別分布状況(株式数)



所有株数別株式分布状況



会社の概況

Corporate Profile

(2019年3月31日現在)

商号 株式会社 **ケー・エフ・シー**
 設立年月日 1965年3月4日
 資本金 5億65百万円
 従業員数 単独 253名 連結 274名
 発行済株式の総数 7,378,050株
 上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 市場第二部

本店・本社
本 店 〒530-0047
 大阪市北区西天満3丁目2番17号
 TEL(06)6363-4188
東京本社 〒105-0011
 東京都港区芝公園2丁目4番1号
 芝パークビルB館11階
 TEL(03)6402-8250



役員

(2019年6月21日現在)

取締役及び監査役

代表取締役社長(兼)執行役員社長	高田俊太
常務取締役(兼)常務執行役員	堀口康郎
常務取締役(兼)常務執行役員	羽馬徹
取締役(兼)執行役員	森田実
取締役(兼)執行役員	御庄俊式
取締役(兼)執行役員	大平康史
社外取締役	佐野裕
社外取締役	中桐万里子
常勤監査役	米田元彦
社外監査役	五島洋彦
社外監査役	渡部靖彦

執行役員

執行役員	村井良和
執行役員	石原淳朗
執行役員	稲葉裕一
執行役員	千足裕一

営業所

東北営業所 〒981-3133
 仙台市泉区泉中央4丁目15番1号
 TEL(022)772-3981
横浜営業所 〒224-0061
 横浜市都筑区大丸8番4号 都筑若澤ビル
 TEL(045)949-5801
静岡営業所 〒422-8035
 静岡市駿河区宮竹2丁目14番10号
 TEL(054)238-6688
名古屋営業所 〒461-0048
 名古屋市東区矢田南5丁目1番11号
 TEL(052)711-8088
岡山営業所 〒700-0975
 岡山市北区今7丁目7番13号
 TEL(086)243-5722
中国営業所 〒732-0811
 広島市南区段原4丁目5番2号
 TEL(082)568-4750
福岡営業所 〒812-0016
 福岡市博多区博多駅前6丁目16番10号
 第一小笠原ビル
 TEL(092)461-2735

流通センター

大阪流通センター 〒584-0023
 大阪府富田林市若松町東3丁目4番2号
 TEL(0721)24-7511
関東流通センター 〒347-0010
 埼玉県加須市大桑1丁目19番地
 TEL(0480)76-0091
技術研究所
 〒347-0010
 埼玉県加須市大桑1丁目19番地
 TEL(0480)76-0095

〒584-0023
 大阪府富田林市若松町東3丁目4番2号
 TEL(0721)24-7511

連結子会社(国内)

アールシーアイ株式会社
大阪本店 〒530-0047
 大阪市北区西天満3丁目2番17号
 TEL(06)6363-4362

東京本社 〒105-0011
 東京都港区芝公園2丁目4番1号
 芝パークビルB館11階
 TEL(03)6402-7570

連結子会社(海外)

唐山日翔建材科技有限公司
本 社 工 場 中華人民共和国河北省唐山市